



プロフィール

教員の両親から生まれる。
神戸大学発達科学部を卒業
中学から大学までは水泳部のキャプテン（現在、神戸市水泳協会副会長）
灘区の松蔭中学と神戸海星中高等学校で18年間教員を勤める。（理科と化学を教える）
地元少年野球部の元コーチ、地域こども水泳教室の現コーチ

2015年、19年、23年神戸市会選挙連続当選、現在3期目
経済港湾委員会所属（2026年6月現在）
議会活動のかたわら、駅頭活動と週末の地域周りを現在も欠かさず継続中。
教員経験を活かし教員の多忙化対策等、教育全般の環境改善に全力活動中。

市政を身近に

発行元

こうべ未来市会議員団

〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 1号館27階
TEL: 078-322-5844 FAX: 078-322-6161

Vol.42

新しい発想をもって、課題解決へ！（5月議会一般質問）

生成AI時代における戦略的な情報発信を!!

広報・行革

質問のまとめ

- ☑ ウェブサイトにアクセスせずに「AIに質問して直接回答を得る」ことで判断を完結させる「ゼロクリック検索」が一般化しつつある。
- ☑ 「SEO（検索エンジン最適化）」からAIに情報を正確に理解・参照されやすくする「GEO（生成エンジン最適化）」の観点が必要不可欠になる。
- ☑ 生成AI時代に合わせた戦略的な情報発信が必要と考えるがどうか。

○広報分野におけるAI活用への戦略的な対応

ガイドラインを策定し、「ページ冒頭への概要文掲載」「箇条書きの活用」など、AIが解読しやすいルールを順次追加。
また、Google検索エンジンへのAIモード搭載を見据え、職員への研修を実施し、広報戦略部が全ての公開ページを確認・校閲する運用体制を構築してきた。

○観光・ブランディング戦略への応用

生成AIは言語の壁を越えるため、「AIが翻訳・理解しやすい正確で魅力的な日本語情報」を蓄積することが、インバウンド旅行者への訴求において重要となる。公式観光サイト「Feel KOBE」での情報発信に加え、AIとの親和性が高いとされる記事サイト「note」を活用し、読者の心を動かす情報発信を強化している。

生成AI時代の新戦略：SEOから「GEO（生成エンジン最適化）」へ



議会風景

▶ 令和8年5月 一般質問

▶ 同左

▶ 令和8年5月 都市交通委員会

ポートアイランドスポーツセンター・王子スタジアムの魅力あるリニューアルを!!

スポーツ

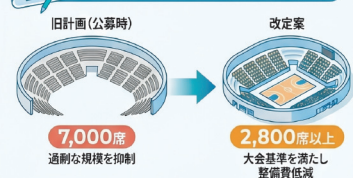
質問のまとめ

- ❑ 再整備が遅れているポートアイランドスポーツセンターについて、再整備計画の基本的な考え方と今後の見通しは。
- ❑ 25m競技用温水プールについて、レーン数などを含めた仕様はどのようなのか。
- ❑ 「王子スタジアム」は競技団体や地域団体が競技を通じてつながるハブ機能も有していたが、閉鎖している4年間で空白期間にならないよう、本市としても積極的に支援し、再開後につながる仕組みを構築すべきではないか。

ポートアイランドスポーツセンター再整備計画：持続可能なリニューアルへの挑戦

建設資材の高騰による入札不調を受け、規模適正化と競技機能維持・強化を両立。市民に長く愛される拠点へ。

効率化とコスト抑制（見直されたポイント）



重複機能・サブ施設の廃止
サブプール・リンク
利用状況を精査、メイン施設に集約し効率化

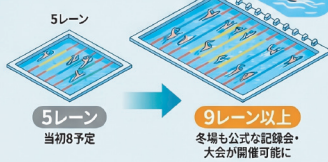
50mプール10レーンの維持と可動床の導入
可動床
全国大会誘致機能を守りつつ、初心者から高齢者まで幅広く対応

主要スペック比較

項目	旧計画（公募時）	改定案
観客席数	7,000席	2,800席以上
25mプール	5レーン（当初8予定）	9レーン以上
サブプール	—	—
サブ施設	サブプール・リンクあり	廃止（メイン施設に集約）

競技機能の維持と強化（守り、進化させるポイント）

通年25mプールの拡大



令和14年度頃の供用開始を目指す

令和11年度：着工
令和12年度：体験建設

令和14年度頃：供用開始・再スタート
市民に長く愛される拠点として

王子スタジアム・リニューアル：4年間の空白を「連携」でつなぐ

課題：4年間の閉鎖による交流の断絶リスク

解決策：既存施設を活用した継続的な連携

令和7年8月末から約4年間の閉鎖
スタジアムのリニューアルに伴い、長期間の利用休止期間が発生します。

コミュニティの「ハブ機能」の希薄化
競技団体と地域団体（商店街・NPO等）の交流が途切れるリスクがあります。

王子スポーツセンターを起点としたイベント
「KOBESPORTS TRIAL DAY」等を継続し、地域NPOとの連携を維持します。

神戸大学 RAVENS と地元NPOの定期交流
大学チームと商店街中心のNPO法人が協力し、地域貢献活動を継続します。

次世代を対象とした体験会の開催
社会人チームが小中学生へフライングフットボールやチアを指導し絆を深めます。

シェアハウスの活用を推進します!!

住宅・地域

「孤立防止」「地域とのつながり」「自立支援」を組み合わせた新たな居住形態として、シェアハウスの重要性が高まっています。市営住宅の活用状況と課題および、シェアハウス運営に精通した団体や不動産関係団体と意見交換を行い、実効性のある支援策をすべき、と質問しました。

単身世帯が増加する中、多世代が緩やかにつながるシェアハウス（例：学生が高齢者の見守りを行う代わりに家賃を減額するモデルなど）は、新しい家族の形や地域コミュニティ形成の有効な手段となり得ます。

神戸市は今後も、事業者等のニーズを踏まえ、市営住宅の活用を含め柔軟に対応していく方針です。

★ 定期的に市政報告会を開催しています。電話・メール等でご予約いただき、ぜひご参加ください。

いさやま大介事務所 〒657-0816 神戸市灘区国玉通 2-2-8 まどかビル 2階東

TEL : 070-1930-2368 FAX : 078-271-3707 mail : info@isayama-daisuke.jp

討議資料